川上地域にまつわるストーリー

長門峡整備の歴史と高島北海

高島　北海
嘉永３年(1850)～昭和６年(1931)
萩博物館蔵

長門峡の起源

長門峡は、約１億年前の大規模な噴火によって流れ出た火砕流でできた地層です。もともとは、木戸山を源流地とする川が、徳佐、津和野を通り、日本海に流れていました。ところが、願成就一帯の青野火山群の噴火により、川の流れが堰き止められ、徳佐盆地に堰止湖ができます。その水が出合（現道の駅「長門峡」付近）で丁字川となって、長門峡からあふれ出し、長い時間の経過により現在のような長門峡と阿武川になったと考えられています。

長門峡の発見と誕生

長門峡が記録としてあらわれるのは、明治32年（1899）頃、参謀本部陸地測量部員が踏査・実測し、地形図を作成したことによります。続いて明治41年（1908）阿武川水力電気株式会社がダム建設のために探査し、写真を人々に配布、長門峡の存在を世に紹介しました。また、同年夏山口高等商業学校英語教師エドワード・ガントレットが長門峡を訪れ、大分の耶馬溪に劣らぬ景勝地だとして「長門耶馬溪」と命名、広く一般に紹介し、開発を呼びかけました。

大正９年（1920)に、阿武郡長岡村勇二が上京し、萩出身の画家 高島北海に開発について相談、同年8月北海が山根武亮とともに探勝し、その渓谷美を嘆賞しました。「長門峡」は、このとき北海によって命名されました。

北海の絵を資金に整備された長門峡

高島北海は、探勝道路の開削が急務と進言し、その経費を捻出するため、長門峡の絵100余幅を描いて頒布、その代金17,600余円を寄付しました。そのときに売られた絵は、今も川上や萩近隣の家々に伝わっています。

長門峡の整備工事は、大正10年（1921）１月から５工区に分けて発注され、総延長約10ｋｍの探勝道路が整備されました。さらに、大正12年（1923）３月７日、国の史蹟名勝天然紀念物保存法によって「名勝 長門峡」に指定されました。昭和36年（1961）には、山口県の県立自然公園１種にも指定され、樹木の保護が行われ、現在に至っています。

◀高島北海が描いた長門峡
長門峡金郷渓口望切籠尖峰の図
萩博物館蔵

▲北海の名を冠した高島洞門。手掘りで造られたという

火山と阿武川がつくった萩の城下町

火山の噴火により長門峡から溢れ出した水がつくった阿武川は、日本海に流れ込み、約2万年前から江戸時代までの長い時間をかけて土砂を運び、萩三角州をつくりました。そして慶長９年（1604）、毛利輝元が萩三角州を埋め立てて萩城を築城し、萩の城下町が発達していきました。

▲当初の長門峡パンフレット　**大正14年（1925）長門峡鳥瞰図**　吉田初三郎画　萩博物館蔵

川上のユズ

川上の遠谷金山地区には、昭和16年（1941）、国の天然記念物の指定を受けたユズの自生地があります。福昌院の寺領で、20～30度の斜面のアラカシ林の間に大小数10本のユズが混生し、自生地として日本で唯一指定を受けています。

昭和30年代後半、この自生地が存在したことに端を発して、産業振興の一つとしてユズの栽培が始まり、川上の特産品となりました。

川上のユズは、自生ユズの種子を採取、接木した在来種のため、特に香りがよく、日持ちがします。その優れた苗を量産し、川上地区内に植栽したため、生産出荷が安定し「川上柚子」というブランドが確立しました。夏には香橙として、そうめんの薬味などに使われます。本格的な出荷は10月20日頃、少し黄色く色づき始めてから行います。

ユズは健康・美容に効果があり、その香りには気持ちを和らげる精油成分が含まれているといわれています。特に豊富に含まれるビタミンCは、レモンの約３倍といわれ、抗酸化作用に優れ、血中コレステロールを下げ、風邪の予防や美肌にも効果があるといわれています。

遠谷金山地区自生地のユズ

ユズの木にはトゲがあるので革の手袋を使って収穫します

川上地区内の作付面積：17ha

園地によっては、昭和40年代の水害で水に浸かり苗木が流され、ずれたまま大きくなったところもあります。現在、年間あたり80～120ｔのユズが主に搾汁用として出荷されています。

施設のご案内

詳しくはこちら！（萩阿武川温泉公園HP）
https://hagiabugawaonsenpark.jimdofree.com/

萩阿武川温泉公園

阿武川沿いの自然豊かな風景、温泉、宿泊（バンガロー＆キャンプ）、直売所、飲食店などが楽しめる公園です。

住　所：山口県萩市川上4892-1

萩阿武川温泉ふれあい会館

萩阿武川温泉公園内にある温泉施設で、アルカリ性単純温泉の肌に優しく柔らかい泉質です。阿武川沿いの山々を見上げる開放的な露天風呂もあります。

ＴＥＬ：0838-54-2619
入浴料(サウナ込み)：
大人550円　小人250円　幼児100円
定休日：火曜日（祝日は除く）
※営業時間は上記HPでご確認ください。

川上農林産物直売所

萩阿武川温泉公園内にある直売所です。地元産の新鮮で安全な野菜、加工品等を販売。季節の山菜や山野草も並びます。

ＴＥＬ：0838-54-2755
定休日：火曜日（祝日は除く）、12月31日～1月3日
※営業時間は上記HPでご確認ください。

阿武川歴史民俗資料館

阿武川ダムの建設によってダムの底に水没した民家で使用されていた農林・漁業（淡水）用具や生活道具などを展示。

住　所：山口県萩市川上2319番地
入館料：高校生以上100円、小・中学生50円
時　間：9：00～16：30
定休日：火曜日（祝日の場合翌日）、12～3月

阿武川ダムとダム湖

総貯水量が山口県最大で、全国有数の規模を誇る阿武川ダム。ダム堤の上からの眺望を楽しめます。（ダムカード配布あり）

詳しくはこちら！（山口県河川課HP）
https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/132/23877.html

ダム湖への進入路「萩市LAKE ABU アクセスサイト」を利用したレジャーフィッシングも楽しめます。（要予約、レンタルボートあり）

詳しくはこちら！（Labuフロンティア協会HP）
https://labu-frontier.jimdofree.com/

川上 季節暦

春
- 萩阿武川温泉公園まつり
- 的祭り（4月）
- 新緑の山々
- 山菜

夏
- かわかみ夏まつり
- アユ料理
- 梅
- アユ漁解禁

秋
- かわかみふるさと祭り（11月）
- 長門峡もみじ祭り
- ユズ
- 子持ちアユ（9月）

冬
- 大根・白菜

R5.4 現在

編集
発行
萩まちじゅう博物館推進委員会川上部会
川上文化財愛護協会
萩まちじゅう博物館文化遺産活用事業実行委員会

平成26年度文化庁文化芸術振興費補助金
（文化遺産を活かした地域活性化事業）
文化庁 Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

萩まちあるきマップ

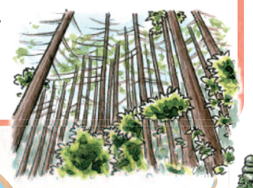
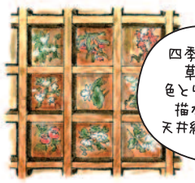
川上おたからマップ

川上は、緑豊かな山々の中央を県下第二の長流・阿武川が流れ、「椿郷の内にて水上に当る故に川上と呼んだ」とあるように、地名や歴史、人々の生活も、阿武川とともに生きてきた地域です。長門峡を上流に持ち、平家の落人伝説の残る古くから水とともに暮らしてきた山里を、渓谷美を鑑賞しながら巡ってみませんか。

このマップは萩まちじゅう博物館の各エリアのおたからを紹介するマップとしてシリーズで発行しています。詳しくは萩まちじゅう博物館 おたからWEBサイトでチェック!!
www.city.hagi.lg.jp/site/machihaku/

HagiMachijyuHakubutsukan
萩まちじゅう博物館

川上おたからマップ

川上の林業

川上は、山々に囲まれ耕地が少ないことから、昔から林業が発達していました。かつてはそのまっすぐな材質を生かして、電柱用丸太や足場丸太として供給されていました。また、その出荷には阿武川の流れを利用し、筏を組んで下流まで運んでいました。